

聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 平成30年5月17日

〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目 10 番 31 号 電話 093 (541) 2409 番

あっ、ゾウさんや



幼稚園の子どもたちを連れて、動物園を訪れた経験があります。幼い子どもたちの集団を後ろから見守っていると、子どもたちの見える範囲が大人に比べて少ないためなのでしょう、自分のごく身近な周りしか見えていない子がほとんどであります。

そのせいで、歩いて行く少し先に、大好きな象が繋がれていることになかなか気がつかないのです。大人には、随分手前から足を繋がれ園舎の外に出ている象が見えるのですが、幼い子どもたちはまったく気づかずに歩いています。

やがて、ごく近くまでやってきて、一人の子どもが気づきます。気がつくやいなや、その子はものすごく大きな声で、「あっ、ゾウさんや！」と叫ぶのであります。自分よりはるかに大きい象を見た幼い子の感動が、「あっ、ゾウさんや！」という声となって現れるのです。そう考えると声を出しているのはその子どもに違いありませんが、その声を出さしめているのは象の偉大さといってよいのではないのでしょうか。

仏さまの名前を口にする南無阿弥陀仏の念仏も、声を出しているのは紛れもなく自分ではありますが、実は仏さまの偉大さや慈しみの心に他ならないのです。親鸞さまのいう他力の念仏とは、仏さまのはたらきに催されたものなのであって、決して自分の善根ではないのです。

ところで、最初の子の、「あっ、ゾウさんや！」の声を聞いた他の子どもたちは、一斉にキョロキョロして、象を探し始めました。そして、象を目にした瞬間、みんながみんな、同じように、「ゾウさんや！」と大声でいうのです。最初の子の声は、次の子の声を生み出すのです。そして、それらの声は、いずれも象の偉大さがいわしめていることに変わりはありません。

一人の念仏の声は、他の人々の念仏を生み出すことになるのです。そして一つ一つの念仏はいずれも仏さまのはたらきによって催されたものなのです。

「私が出遇えたご門徒さん」を出版 小倉組寺族婦人会

小倉組の各寺院の坊守さん方で組織する寺族婦人会の有志の皆さんがそれぞれに書かれたものをまとめ、本年4月出版されました。ぜひ一読ください。本はお寺にございます・・・住職

「あとがきによせて」より

「わすれられないおくりもの」(評論社)という絵本があります。

村の動物たちからとても頼られ慕われていた賢いアナグマさんが、亡くなります。冬の初めてでした。残された仲間たちは、寒い冬のあいだ彼のことを思い出しては、悲しい時間を過ごしました。

春が来て外に出られるようになると、動物たちは、いろいろな事を教えてくれた優しいアナグマさんの思い出を語り合うようになりました。そして、彼からもらったおくりものは、優しさの種だったのだと気づきます。

もう会えないけれど、アナグマさんは一人ひとりの心の中に生きていると気づくのです。

種は、花を咲かせ実を結びます。私にとってのアナグマさんは、ご門徒さんたちです。その方々にいただいた仏さまの種を大切に育てて、また誰かに渡していくことが、私の務めだと思っています。

その方を想う悲しみの深さは その方からいただいたご恩の深さである

「小倉組の坊守さんたちは、仲が良くて楽しそうですね」と他の組の方がおっしゃって下さいます。

小倉組はわりとせまい地区の中にいくつものお寺があります。それぞれにそのお寺を護ってこられた諸先輩の坊守さま方が、何でも言い合える雰囲気を作ってください、今の寺族婦人会が明るくあたたかになっているのだと思います。

そしてその私たちを支えてくださっているのが、ご門徒の皆さまです。

お寺に来られる方々は、悲しいご縁の中でのご参りであることがほとんどで、その方々に寄り添える私たちでありたいと願っています。でもいつのまにか、支えていたつもりが、支えられていたと気づくことがあります。

そういったご門徒さんとの思い出を、それぞれの寺族婦人会の皆様に書いていただきました。

沢山のお手の中、幾重にも守られ育てていただいた感謝と、これからも一緒に歩いてゆけるよう、そしてお寺へお参りされる方々が、少しでも笑顔になっていただけるよう、願いを込めて…。

合掌

正善寺仏教婦人会の会員に入って下さる方を募集中

30年度の内容

年会費 千円

5月 浄土真宗の基礎のお話

6月 ぬりえに挑戦して、季節の花を描きましょう

9月 呼吸方法と笑いヨガで身体を健康に

10月 バスハイク

2月 美味しい健康食事みんなで一緒に作りましょう



入会お待ちしております

ご 案 内

永 代 経 法 要

| | | |
|-----|---------|---------|
| | 6月2日(土) | 6月3日(日) |
| 昼 席 | 午後1時30分 | 午後1時30分 |

と き 平成30年6月2日より6月3日まで

講 師 当 山 住 職 自 勤

どうぞお誘いあわせのうえお参り下さい。

初 参 式

と き 平成30年6月3日(日) 午前11時閉式

幼児が初めて仏様の前にてお参りをする儀式です

- ◎ 家族お揃いで、**30分前にご集合**ください。
手形の色紙作りをします。終了後、記念撮影を致します。
- ◎ 参加申し込みは、準備の都合により5月30日(水)までに、お寺へお知らせください。お待ちしております。

法 要 準 備 会

1人でもたくさんの方がきていただくと本当に助かります。
どうぞよろしくお願いたします

5月30日(水) 10:00 から 15:00 まで(少しの時間でもかまいません)
本堂、納骨所もみんなて綺麗に致します。**昼食準備しています。**

正善寺「庫裡」境内地整備が竣工

昨年より着工いたしました、庫裡が無事に竣工し、
境内地の整備も併せて、3月末に完成いたしました。

おかげさまで

これまで以上に「ようこそ」とお迎えできるようです。
どうぞお立ち寄りください。ご報告いたします。



行事のご案内【如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし】

平成 30 年度小倉組

小倉組仏教婦人会総会・研修会

6月 20 日(水) 13:00 より 15:30 まで

会 場 大手町 永 照 寺 本堂

講 師 生 土 昌 行 師

平成 30 年 夏 の つ ど い

と き 7月 28 日(土) 16:00~18:00

と ころ 神 岳 保 育 園 園 庭

参加対象 自 由

イベント 食品、手作りバザー各種

ゲーム大会 園児の盆踊り

園児の祇園太鼓披露

神岳保育園・父母の会主催

孟 蘭 盆 会 (盆 会) (うらぼんえ)

8月 13・14・15 日はお盆です。正しくは「孟蘭盆会」といいます。どうぞ自由にお参り下さい。納骨所利用の方はぜひおいで下さい。なお、お盆の門徒様宅お参りは **8月初めより実施** しています。都合のある方、時間に制限のある方は、早めにお寺に申し込み連絡下さい。早めの期間であれば時間通りにお伺いができます。

次回の法要のご案内

秋 季 彼 岸 法 要

■ 平成 30 年 9 月 20 日 (木) (昼 席) ・ 21 日 (金) (昼 席)

【講 師】 熊本市 良覚寺 本願寺派布教使 吉村隆真師

準備会のお知らせ 9月 15 日(土) 10:00 より 15:00 まで 昼食準備します。

編 集 後 記

新緑がとても美しい季節です。数日ごとに降る雨も葉の緑を洗い木々の根っ子にふりそそぐ感謝の雨のように思います。五月、Nさんの息子さんがお浄土に還られてやっと一年が経ちました。この一年。何回何回 Nさんは人知れず泣かれたことでしょう。「変わってやりたかった」小さな声のその言葉は一年間ずっと私の心にありました。やっと一年が過ぎていきます。お母さんが息子さんを想う思いは消えることはありませんが、仏縁に遇わせていただいている者が確かに言えることは「今、遇えているよ」ということです。私事ですが、時々実家の母に会いに車を運転して帰ります。帰る時、亡き父はいつも空の雲になってくれています。運転する私の道の先を父が雲になってこっちこっちと里への道を導いてくれています。不思議なことだけれど確かなことといただいています

Nさんの息子さんはお浄土に往かれて、今まさに仏さまになられて、ここにきて下さっているのです。亡くなって終わりではないのです。私の中に存在し、感謝の雨をお母さんの心にふりそそいでいて下さっているのです。愛しい人との別れはつらく、きびしいことだけれども「あなたの人生すべてを私が守っているからね。姿形はないけれど今遇えているよ」と教えてくれているのです。悲しい事実だけでなく、悲しみの中にも私を育むはたらきを感じることが出来た時、一歩前に踏み出すことのできる世界が開かれてくるのです。永代経とは「今、ここで遇える世界」どうぞ今の私を包み込んで下さる尊いご縁、永代経法要に、お参りください。Nさんの素敵な笑顔が新緑の中で輝いていて下さることを念じて・・・ 合掌